

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東北財務局長

【提出日】 平成25年10月15日

【四半期会計期間】 第42期第2四半期(自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)

【会社名】 株式会社カルラ

【英訳名】 Karula Co.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 井上善行

【本店の所在の場所】 宮城県黒川郡富谷町成田九丁目2番地9

【電話番号】 022-351-5888

【事務連絡者氏名】 取締役企画本部担当 清水あさ子

【最寄りの連絡場所】 宮城県黒川郡富谷町成田九丁目2番地9

【電話番号】 022-351-5888

【事務連絡者氏名】 取締役企画本部担当 清水あさ子

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第41期 第2四半期 連結累計期間		第42期 第2四半期 連結累計期間		第41期	
		自	平成24年3月1日 至 平成24年8月31日	自	平成25年3月1日 至 平成25年8月31日	自	平成24年3月1日 至 平成25年2月28日
売上高	(千円)		3,927,411		4,058,611		7,353,451
経常利益	(千円)		384,579		357,584		427,697
四半期(当期)純利益	(千円)		202,331		193,952		224,223
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		184,517		192,726		223,928
純資産額	(千円)		2,964,239		3,136,301		3,003,649
総資産額	(千円)		6,415,940		6,596,590		6,414,870
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)		33.68		32.29		37.32
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		46.2		47.5		46.8
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		332,472		552,066		352,387
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		231,173		247,939		466,107
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		43,737		261,916		187,982
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		853,789		825,226		783,015

回次		第41期 第2四半期 連結会計期間		第42期 第2四半期 連結会計期間	
		自	平成24年6月1日 至 平成24年8月31日	自	平成25年6月1日 至 平成25年8月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		20.79		19.16

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 各期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府・日銀による金融緩和をはじめとする経済政策等の効果もあり、企業収益に改善が見られるなど、全体として先行きの景況感に明るい兆しが見受けられるものの、長期化している個人消費の低迷や厳しい雇用情勢など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、国内の市場規模に拡大が見られない中、消費者の節約志向、生活防衛意識は一層高まり、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、当社の主力業態である和食ファミリーレストラン「まるまつ」は、「健康的でおいしい食事」を、「より価値ある価格で提供する」ことを基本ベースに、新製品を投入したメニュー施策や、クレンジングの徹底、定められた提供時間の遵守等により他社との差別化を図り、既存店の強化に取り組んでまいりました。一方、「かに政宗」泉店を7月25日に新規オープンいたしました。その出店に関する費用の発生、メニュー改訂に伴うエネルギーコストの増加、店舗改装費用の発生等により費用は増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は40億58百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益は3億63百万円(同8.5%減)、経常利益は3億57百万円(同7.0%減)、四半期純利益は1億93百万円(同4.2%減)となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は65億96百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億81百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産の増加1億52百万円によるものであります。

(負債)

負債総額は、34億60百万円となり、前連結会計年度末と比較して49百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等の増加によるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比較して1億32百万円増加し、31億36百万円となりました。この結果、自己資本比率は47.5%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は前連結会計年度末と比較して42百万円増加し、8億25百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は5億52百万円となりました。収入の主な内訳は税金等調整前四半期純利益3億62百万円、減価償却費1億33百万円等であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額53百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億47百万円となりました。主な内訳は、建設協力金等の貸付金の回収による収入81百万円、新店建設等の有形固定資産の取得による支出2億82百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2億61百万円となりました。主な内訳は、長期借入れによる収入2億円、長期借入金の返済による支出4億2百万円、配当金の支払額59百万円等であります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年10月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,021,112	6,021,112	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株でありま す。
計	6,021,112	6,021,112		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減 数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増 減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備 金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月1日 ~ 平成25年8月31日		6,021,112		1,238,984		973,559

(6) 【大株主の状況】

平成25年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
井上修一	宮城県仙台市泉区	2,011	33.39
井上啓子	宮城県仙台市泉区	663	11.02
井上純子	宮城県仙台市泉区	139	2.31
カルラ従業員持株会	宮城県黒川郡富谷町成田九丁目2番地9	126	2.09
斎藤京子	宮城県黒川郡富谷町	89	1.49
井上善行	宮城県仙台市泉区	58	0.96
株式会社SBI証券	東京都港区六本木一丁目6-1	50	0.83
菊池公利	宮城県仙台市泉区	42	0.70
田中克己	宮城県仙台市太白区	34	0.57
清水あさ子	宮城県黒川郡富谷町	32	0.53
計		3,247	53.94

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 13,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,006,300	60,063	
単元未満株式	普通株式 1,112		
発行済株式総数	6,021,112		
総株主の議決権		60,063	

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社カルラ	宮城県黒川郡富谷町成田 九丁目2番地9	13,700		13,700	0.22
計		13,700		13,700	0.22

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人ハイビスカスによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	783,015	825,226
売掛金	12,922	18,735
商品及び製品	113,189	144,285
原材料及び貯蔵品	31,614	33,053
その他	189,125	180,511
流動資産合計	1,129,866	1,201,812
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,801,817	1,954,171
機械装置及び運搬具(純額)	62,878	66,365
工具、器具及び備品(純額)	150,520	142,400
土地	1,837,869	1,837,869
建設仮勘定	5,500	10,000
有形固定資産合計	3,858,586	4,010,806
無形固定資産	66,518	94,162
投資その他の資産		
投資有価証券	47,043	21,833
長期貸付金	555,626	526,402
敷金及び保証金	639,979	631,355
その他	126,557	119,478
貸倒引当金	9,308	9,261
投資その他の資産合計	1,359,898	1,289,808
固定資産合計	5,285,003	5,394,777
資産合計	6,414,870	6,596,590
負債の部		
流動負債		
買掛金	155,150	229,877
1年内返済予定の長期借入金	784,744	770,528
未払法人税等	73,135	177,697
賞与引当金	33,666	22,028
ポイント引当金	1,610	1,830
その他	335,183	420,287
流動負債合計	1,383,490	1,622,250
固定負債		
長期借入金	1,724,755	1,536,689
長期未払金	175,675	175,675
資産除去債務	83,739	84,601
その他	43,560	41,071

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
固定負債合計	2,027,729	1,838,037
負債合計	3,411,220	3,460,288
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,238,984	1,238,984
資本剰余金	973,559	973,559
利益剰余金	820,008	953,886
自己株式	29,599	29,599
株主資本合計	3,002,953	3,136,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	694	2,177
その他の包括利益累計額合計	694	2,177
少数株主持分	1,390	1,647
純資産合計	3,003,649	3,136,301
負債純資産合計	6,414,870	6,596,590

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	3,927,411	4,058,611
売上原価	1,169,432	1,202,512
売上総利益	2,757,978	2,856,099
販売費及び一般管理費	¹ 2,360,800	¹ 2,492,802
営業利益	397,178	363,296
営業外収益		
受取利息	8,155	7,502
協賛金収入	7,180	4,222
受取賃貸料	29,605	36,326
貸倒引当金戻入額	343	47
その他	3,896	3,706
営業外収益合計	49,181	51,804
営業外費用		
支払利息	23,889	17,909
賃貸費用	35,556	39,155
その他	2,334	451
営業外費用合計	61,780	57,516
経常利益	384,579	357,584
特別利益		
投資有価証券売却益	-	49
受取補償金	9,665	7,722
特別利益合計	9,665	7,772
特別損失		
店舗閉鎖損失	825	-
固定資産売却損	2,190	-
固定資産除却損	17,161	3,034
特別損失合計	20,176	3,034
税金等調整前四半期純利益	374,068	362,321
法人税、住民税及び事業税	162,299	156,281
法人税等調整額	9,062	11,830
法人税等合計	171,361	168,112
少数株主損益調整前四半期純利益	202,706	194,209
少数株主利益	374	257
四半期純利益	202,331	193,952

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	202,706	194,209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,189	1,482
その他の包括利益合計	18,189	1,482
四半期包括利益	184,517	192,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	184,142	192,469
少数株主に係る四半期包括利益	374	257

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	374,068	362,321
減価償却費	143,097	133,184
受取利息	8,155	7,502
支払利息	23,889	17,909
固定資産売却損益（は益）	2,190	-
固定資産除却損	17,161	3,034
店舗閉鎖損失	825	-
受取補償金	9,665	7,722
貸倒引当金の増減額（は減少）	343	47
賞与引当金の増減額（は減少）	10,495	11,637
たな卸資産の増減額（は増加）	3,764	32,535
仕入債務の増減額（は減少）	70,032	74,727
未払金の増減額（は減少）	30,035	17,820
未払消費税等の増減額（は減少）	16,132	2,774
未収入金の増減額（は増加）	162	27
その他	30,148	59,937
小計	614,924	606,743
利息の受取額	8,094	7,429
利息の支払額	24,314	16,576
法人税等の支払額又は還付額（は支払）	275,896	53,251
補償金の受取額	9,665	7,722
営業活動によるキャッシュ・フロー	332,472	552,066
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	195,957	282,103
有形固定資産の売却による収入	9,812	-
投資有価証券の取得による支出	53,299	-
投資有価証券の売却による収入	-	23,776
貸付けによる支出	88,000	47,409
貸付金の回収による収入	83,951	81,887
敷金及び保証金の差入による支出	23,977	194
敷金及び保証金の回収による収入	37,596	8,889
ソフトウェアの取得による支出	1,299	32,787
投資活動によるキャッシュ・フロー	231,173	247,939
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	600,000	200,000
長期借入金の返済による支出	496,549	402,282
配当金の支払額	59,713	59,634
財務活動によるキャッシュ・フロー	43,737	261,916
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	145,036	42,210

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
現金及び現金同等物の期首残高	708,752	783,015
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 853,789	¹ 825,226

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成25年 2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年 8月31日)
債務保証 連結会社以外の会社の金融機関からの借入金に対して次のとおり債務保証を行なっております。	債務保証 連結会社以外の会社の金融機関からの借入金に対して次のとおり債務保証を行なっております。
株式会社 亘理ファーム 85,990千円	株式会社 亘理ファーム 85,990千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年 3月1日 至 平成24年 8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年 3月1日 至 平成25年 8月31日)
1 販売費及び一般管理費の主要なもの	1 販売費及び一般管理費の主要なもの
給料手当 1,032,888千円	給料手当 1,089,077千円
賞与引当金繰入額 34,252	賞与引当金繰入額 21,425
賃借料 406,701	賃借料 404,070
水道光熱費 265,044	水道光熱費 279,790
ポイント引当金繰入額 1,560	ポイント引当金繰入額 1,830

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年 3月1日 至 平成24年 8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年 3月1日 至 平成25年 8月31日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年 8月31日現在)	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成25年 8月31日現在)
現金及び預金 853,789千円	現金及び預金 825,226千円
現金及び現金同等物 853,789千円	現金及び現金同等物 825,226千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月25日 定時株主総会	普通株式	60,073	10.00	平成24年2月29日	平成24年5月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月24日 定時株主総会	普通株式	60,073	10.00	平成25年2月28日	平成25年5月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

当社グループの報告セグメントはレストラン事業のみであり、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	33円68銭	32円29銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	202,331	193,952
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	202,331	193,952
普通株式の期中平均株式数(株)	6,007	6,007

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月11日

株式会社カルラ
取締役会 御中

監査法人ハイビスカス

指定社員
業務執行社員 公認会計士 堀 俊 介 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 堀 口 佳 孝 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社カルラの平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社カルラ及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。